



校長室だより

2023年5月19日
校長 橋本 顕嗣



行事を通して関わる力を

令和5年度の学校生活も1ヶ月半を経過しました。お子さんの様子はいかがでしょう。5月の連休明け、5月13日には本校の学校行事である「運動発表会」が開催されました。保護者のみなさんの参観については人数制限を設けなかったことから、多くの方々にお子さんの活躍の様子をご覧いただけたのではないかと思います。運動発表会のスローガンは「パワー全開！！きずなも心も全力で燃やせ！！」でした。私はこのスローガンを知ったとき、「きずな」という言葉を選んだ子どもたちの考えに驚くと共に、大変うれしくなりました。なぜなら、私も運動発表会等の学校行事を通して、子どもたち同士、先生方と子どもたちの絆が紡がれていくことを願っていたからです。さて、運動会のように昔からどこの学校でも行っている学校行事はなぜ続いているのでしょうか。

運動発表会は学指導要領のうえでは学校行事の健康安全・体育的行事として特別活動の領域の一つに位置付けられており、実は学校教育では実施しなくてはならないものといえます。その特別活動の「目標」には、集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して・・・とあります。私はこの中の集団活動というところがポイントであると捉えています。リレーやソーランなどの演技は集団活動の典型ですが、運営に関わる様々な役割もまさに集団としての取組です。また、当日の取組だけでなく、演技や競技の練習をしたり、練習方法や運営について話し合ったりすることは集団活動に他なりません。つまり、集団の一人一人が他者と関わり、協働することで、他者の良いところに気付き、様々な力を身に付けさせ、成長させることが運動発表会の目標なのです。ただし、他者と関わる時には意見・考えの違いがぶつかり合うこともありますし、お互いの思いが真剣で強いときはなおさらです。こうした違いを乗り越えようと努力し、お互いに歩み寄ることが大切です。理解してもらうために、いつどのような言葉やタイミングで相手に考えや思いを伝えるか、または折り合いをつけるかです。これは関わることでしか身に付きませんし、関わることを通して、関わる力が身に付くといえます。学校行事の様々な活動で課題を乗り越えて行事を終えたとき、よかったと心から思える思い出ができ、絆が強くなる、他者と関わることを通して心が豊かにたくましく成長することができると思います。

今後、他者と関わる力・協働する力がこれからますます必要な社会になると思います。毎日の生活や授業においても集団の中で他者との関わりを通して、一日一日を過ごしていきます。ご家庭でも子お励ましくくださいますようお願いいたします。

〔 お願い 〕

今後も「学校だより」「校長室だより」「学校ホームページ」等で学校からの情報発信に努め、風通しの良い学校を作っていくために努力して参ります。御意見、御提案、御要望等は随時学校までお知らせくださいますよう、お願いいたします。